



平成24年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ネクソン

コード番号 3659 URL <http://www.nexon.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 崔 承祐

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼管理本部長

(氏名) オーウェン・マホニー

TEL 03-3523-7910

四半期報告書提出予定日 平成24年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第1四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第1四半期	30,377	—	17,384	—	17,677	—	12,377	—
23年12月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 24年12月期第1四半期 18,233百万円 (—%) 23年12月期第1四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第1四半期	28.82	27.90
23年12月期第1四半期	—	—

(注) 当社は、平成23年12月期第3四半期累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年12月期第1四半期の実績及び対前年四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第1四半期	255,342	197,308	75.8
23年12月期	235,765	177,886	73.8

(参考) 自己資本 24年12月期第1四半期 193,496百万円 23年12月期 173,979百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年12月期	—	—	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	52,972	28.4	26,679	48.7	27,101	49.7	19,221	51.3	44.69
通期	108,338	23.7	52,234	36.6	53,011	43.6	37,800	46.8	87.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年12月期1Q	432,471,900 株	23年12月期	426,132,900 株
② 期末自己株式数	24年12月期1Q	― 株	23年12月期	― 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年12月期1Q	429,532,650 株	23年12月期1Q	― 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断できる一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	1
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、全体として緩やかな回復が続いた一方、原油価格の上昇や欧州地域における財政の先行き不安を背景とした金融面への影響により、景気が下振れするリスクが根強く残っております。また、アジア地域においては、主に中国において内需を中心に景気が拡大しており、引き続き今後も拡大傾向が続くと見込まれるものの、物価上昇や輸出の動向に留意する必要があります。

一方、わが国経済は、東日本大震災及び原子力発電所事故の影響によりデフレや雇用情勢の悪化懸念等、依然として厳しい状況が続く中、企業の生産及び設備投資等は持ち直しの動きが見られました。

このような状況の中、当社グループはオンラインゲーム事業を中心にモバイルゲーム事業及びその他事業を展開し、幅広いユーザーへ向けたクオリティの高いサービスの提供、多様化するユーザーの嗜好に対応できる秀逸なコンテンツの積極的な獲得に努め、既存タイトルのアップデート及び新規タイトルの配信を推し進めてまいりました。

上記の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は30,377百万円、営業利益は17,384百万円、経常利益は17,677百万円、四半期純利益は12,377百万円となりました。

報告セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 日本

日本国内におきましては、既存ゲームタイトルである「メイプルストーリー」、「テイルズウィーバー」、「カウンターストライクオンライン」等が好調に推移いたしました。新規ゲームタイトルの積極的なマーケティング活動等によりコストが増大した結果、売上高は3,087百万円、セグメント利益は374百万円となりました。

② 韓国

韓国国内におきましては、「メイプルストーリー」、「サドンアタック」、「マビノギ・ヒーローズ（日本名「マビノギ英雄伝」）」等の主に旧正月における大型アップデートによる好調な推移や、中国における「ダンジョン・アンド・ファイター（日本名「アラド戦記」）」の飛躍的な売上高増加に伴うロイヤリティ収入の増加により、売上高は24,147百万円、セグメント利益は16,032百万円となりました。

③ 中国

中国国内におきましては、「ダンジョン・アンド・ファイター（日本名「アラド戦記」）」の飛躍的な売上高増加に伴うコンサルティング収入の増加により、売上高は1,327百万円、セグメント利益は1,028百万円となりました。

④ 北米

北米地域におきましては、既存ゲームタイトルが計画比では順調に推移したものの、前連結会計年度末に発生した「メイプルストーリー」におけるハッキングへの対応によりアップデートに遅れが生じた結果、売上高は1,336百万円、セグメント損失は154百万円となりました。

⑤ その他

その他地域におきましては、売上高は前年比では横ばいに推移したものの、為替の影響により、売上高は478百万円、セグメント利益は116百万円となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は161,311百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,588百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が14,497百万円増加したことによるものであります。固定資産は94,031百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,987百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が2,251百万円、投資その他の資産が4,915百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、255,342百万円となり、前連結会計年度末に比べ19,576百万円増加いたしました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は27,678百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,116百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が3,236百万円増加したことによるものであります。固定負債は30,355百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,960百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が3,016百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、58,034百万円となり、前連結会計年度末に比べ155百万円増加いたしました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は197,308百万円となり、前連結会計年度末に比べ19,421百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益12,377百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は75.8%（前連結会計年度末は73.8%）となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、当社が配信しているゲームタイトルの当第1四半期連結累計期間における業績が、アジア圏を中心に当初予想を上回って推移したことから、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成24年5月10日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

一部の連結子会社は原則的な処理によっております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（1株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用）

当第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	132,479	146,977
受取手形及び売掛金	13,845	11,434
有価証券	12	33
商品	40	50
その他	4,367	2,831
貸倒引当金	△22	△15
流動資産合計	150,722	161,311
固定資産		
有形固定資産	16,016	18,267
無形固定資産		
ゲーム著作権	31,163	31,736
のれん	11,595	12,726
その他	1,315	1,431
無形固定資産合計	44,074	45,894
投資その他の資産	24,952	29,868
固定資産合計	85,043	94,031
資産合計	235,765	255,342
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	981	1,505
短期借入金	—	3,236
1年内返済予定の長期借入金	2,994	175
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	9	0
未払法人税等	6,671	8,905
前受収益	8,111	8,508
賞与引当金	1,082	421
資産除去債務	47	20
その他	4,662	4,904
流動負債合計	24,562	27,678
固定負債		
長期借入金	18,567	15,550
長期前受収益	5,707	5,775
退職給付引当金	203	205
負ののれん	3,553	3,577
資産除去債務	117	162
その他	5,167	5,084
固定負債合計	33,316	30,355
負債合計	57,878	58,034

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,300	50,903
資本剰余金	50,162	50,764
利益剰余金	90,757	103,135
株主資本合計	191,219	204,803
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	471	52
為替換算調整勘定	△17,711	△11,359
その他の包括利益累計額合計	△17,239	△11,306
新株予約権	455	359
少数株主持分	3,451	3,451
純資産合計	177,886	197,308
負債純資産合計	235,765	255,342

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)
売上高	30,377
売上原価	4,409
売上総利益	25,967
販売費及び一般管理費	8,582
営業利益	17,384
営業外収益	
受取利息	352
為替差益	913
負ののれん償却額	231
雑収入	310
営業外収益合計	1,807
営業外費用	
支払利息	132
持分法による投資損失	1,315
雑支出	66
営業外費用合計	1,514
経常利益	17,677
特別利益	
固定資産売却益	3
持分変動利益	0
特別利益合計	3
特別損失	
固定資産除売却損	13
減損損失	1,164
持分変動損失	0
特別損失合計	1,178
税金等調整前四半期純利益	16,502
法人税等	4,195
少数株主損益調整前四半期純利益	12,307
少数株主損失（△）	△70
四半期純利益	12,377

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	12,307
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△419
為替換算調整勘定	5,799
持分法適用会社に対する持分相当額	545
その他の包括利益合計	5,925
四半期包括利益	18,233
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	18,310
少数株主に係る四半期包括利益	△77

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注3)
	日本	韓国	中国	北米	計			
売上高								
外部顧客への売上高	3,087	24,147	1,327	1,336	29,898	478	—	30,377
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,241	—	14	1,256	—	△1,256	—
計	3,087	25,389	1,327	1,350	31,155	478	△1,256	30,377
セグメント利益又は 損失 (△)	374	16,032	1,028	△154	17,280	116	△13	17,384

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない所在地セグメントであり、欧州が含まれております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△13百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	調整額	合計
	日本	韓国	中国	北米	計			
減損損失	4	1,159	—	—	1,164	—	—	1,164

(のれんの金額の重要な変動)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	調整額	合計
	日本	韓国	中国	北米	計			
当期償却額	40	551	—	—	592	—	—	592
当期末残高	875	11,850	—	—	12,726	—	—	12,726

(負ののれんの金額の重要な変動)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	調整額	合計
	日本	韓国	中国	北米	計			
当期償却額	—	231	—	—	231	—	—	231
当期末残高	—	3,577	—	—	3,577	—	—	3,577

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 地域ごとの情報

(売上高)

(単位：百万円)

日本	韓国	中国	北米	その他	合計
3,096	8,856	15,175	1,397	1,850	30,377

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

3. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………米国、カナダ

(2) その他……………欧州及びアジア諸国、中南米

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

著しい変動がないため記載を省略しております。